もっと前へ
歩き出しませんか。

松山市議会議員 原しゅんじ

コロナがまだ心配ですね。
だからこそ立ち上がろう
安心としあわせを実感できる
まつやまを目指して
「みんなで創る
　みんなの理想の街」へ

みなさん！声をもっと聞かせてください。
市議会は一番身近にある政治です。
わたしは、みなさんと政治のことを一緒に考える。
そうあって欲しいなと思います。

市政報告・討議資料

生年月日：昭和39年5月22日生れ
家　　族：妻（看護師）、子供男子3人は独立

学歴・職歴

昭和55年 松山市立 雄新中学校 卒業
昭和60年 国立 新居浜工業高等専門学校 電気工学科 卒業
昭和60年 四国通信建設㈱入社
平成　5年 衆議院議員 塩崎恭久 秘書
平成　9年~㈱根津設計 入社
平成18年 松山市議会議員 初当選
平成28年 松山市議会副議長
平成30年 自民党松山支部連合会 会長

現職・その他活動

(株)根津設計 取締役会長
平成２８年度 松山青年会議所シニアクラブ 会長
愛媛県青少年育成リーダー協議会 会長
松山市青少年育成支援委員協議会 理事
愛媛県更生保護会 理事
モラロジー道徳教育財団 維持員
愛媛県建築士事務所協会 会員
愛媛県建設労働組合松山支部 相談役
松山法人会 中小企業家同友会松山支部 所属
茶道裏千家淡交会松山支部 所属
新居浜高専同窓会燧会 理事
愛媛県ボウリング連盟 副会長
俳句甲子園実行委員会 所属
まつやま俳句でまちづくりの会 所属

原しゅんじ事務所
松山市土居田町229番地4（～令和4年2月）
松山市土居田町584番地　（令和4年2月～）
TEL：089-974-8812
FAX：089-974-8813
E-mail：harasyun@gmail.com

友だち登録
お願いします！

ホームページ　facebook　LINE

対談でお借りしたスタジオ・撮影協力　アルスタ　石田クリーニング（https://arusta-live.com/）

市政対談

衆議院議員 塩崎 彰久 × 松山市議会議員 原 俊司

「愛媛一区の代議士として松山市民に向けて想いと抱負について」

松山市の代表の衆議院議員として大きな期待と責任の重さを感じています。市民のみなさんから拝聴させて頂きました沢山のご意見を胸に刻み、コロナ禍から立ち上がるために、生活や仕事に直結する重要な政策課題に取り組んでいきます。

「強みは伸ばし、弱みは改善やカバーできる政策が求められていますが、彰久代議士が感じる本市の強み弱みと目指したい政策について」

強みはアクセスがよく都市機能、医療福祉、学校等が充実しています。産業構造的にバランスは良く、住みやすいことが強みです。反面、若い方が求める仕事が十分あるといえません。ＩＣＴを活用し全国そして世界につながる産業そして人材が相互交流を推進していきます。

「年齢性別や収入の有無にかかわらず、尊厳が守られ社会参加ができる事が大事だと思っています。未来をつくる現役世代に送るメッセージをお願いします」

これから必ず来る人材不足への対応は必至です。多様な働き方で女性・高齢者が働きやすい柔軟な社会を推進していく必要があります。現役世代の皆さんはリーダーとして、今の仕事そして自身と人材を大事に育てて頂きたいです。

今後も責任与党である自民党議員として、塩崎代議士と共に、地元の声が政策に反映できますように、国や県にしっかりと声を届けたいと思います。

医療の充実

1 とにかくコロナ感染予防とワクチン接種を前倒しに!

変異株が広がる中、3回目のワクチン接種を前倒しに行われなければなりません。早期のワクチン供給を政府に求めており、体制を担う医療関係者には引き続き対応をお願いすると共に、行政の役割として、できる事は何でもやる気概が必要です。また障がい児（者）の皆さんには、かかりつけ医による柔軟な個別接種を行っていくことが大事です。

2 医療体制の充実を求めています!

本市は、救急医療を支える医療従事者の確保、医師の高齢化や不足している小児科医の確保など課題を抱えています。更には、救急医療、コロナ患者の受け入れ、3回目のワクチン接種など、医療体制を支えて出務頂いている医師会や医療関係者の声をお聞きし、命を守る医療体制を充実していく施策が重要です。

農業用水路の清掃活動中

走る！ 体育祭が開催できます様に！

餅つきは腰にキツイです！

健康・福祉・生活の充実

3 発達障がい児支援のための ワンストップの相談体制が整います！

提案してきました相談しやすい窓口がハーモニープラザ内に、4年4月に設置されます。 相談員が児童館を巡回、早期発見とわかりやすい相談体制が確保できました。 また、障がいと同様な特性や個性によって仕事や社会生活に不安を抱える大人の相談の必要性も求めています。

4 大幅な値上げが伴う恒常水源より非常時に！ 命の水を確保しよう！

長寿命化や給水人口減に伴う経営改善が必要で水道料金の値上げはやむを得ない状況にあります。 そんな中、渇水対策の観点から危機管理上、緊急水源の確保は必要です。 ただ、真に必要な水量と確保策は議論半ばで、料金の値上げは極力避ける必要があります。
また、未給水地域統合分については、積極的な調査研究を求めています。 消防指令業務の共同運用や一般ごみ広域化など、まつやま圏域で広域化をリードしています。圏域市町にむけて本市の課題として大渇水時の緊急水源確保のために議論を進める事を求めています。

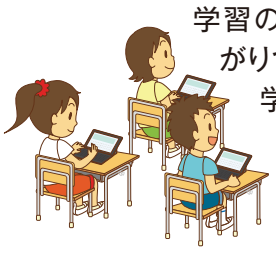
5 危機管理の最優先とは！ お困りの市民の生命財産を守る！

想定外ではなくなった浸水想定地区では、常に浸水するという不安、常習化したストレスを抱えています。 根本的な対策のために雨水管の調査及び改善を促進する必要があります。 また、南海トラフ地震への備えは必須ですが、重要な備えとは災害復興の準備です。 仮説の避難住宅は現状の空き家を確保することも検討して頂きたい。

教育が変わる！

1 GIGAスクールの可能性はすごい！

児童生徒へ学習用タブレット端末の自宅への持ち帰りが始まり、学習の機会と多様性に対応でき可能性は大きく広がりつつあります。 また、病児及び諸事情により学校に通学できない児童生徒に対し、自宅や病院等での学習の機会への期待が高まります。本市の教諭によるWEB授業を提供できる様に提案しています。



2 選ばれる本市の小中学校へ！

学力差が経済格差であってはならず、選択肢が増える中で、市立小中学校は競争原理の中にいることを直視し、学力向上は大事です。公立だからこそできる、地域へのつながり、郷土愛、やさしく強い子を育み、すべての児童生徒に寄り添うこと。多様性への理解が求められており、様々な個性を持つ生徒と共に学ぶ機会が進めます。

コロナ下から経済復活へ！

1 「成長」と「分配」を考える！

成長と分配をすすめ、中間層を拡大していく「新しい資本主義」を掲げています。今後は、具体政策の実行が求められています。本市の雇用は、95%を占める中小企業と個人事業主の方々で支えられており、成長を支えるためには雇用の確保は必須で、これからの政策に合わせて、雇用の維持が成長につながる事を意識し実行する経営者を求めていきます。

2 デジタル社会でまちづくり

コロナ下で、ICTがずいぶん浸透してきました。テレワークやWEB会議が増える中、勤務地にかかわらず全国どこでも働けるという可能性が広がりました。本市は、家賃が抑えられる上、アクセスが抜群の本市は誘致において十分に戦え、働きやすいこと松山を知って頂き、現役世代の人口をふやしていく事が大事です。

3 コロナ禍から立ち上がれ 商店街を応援しよう。

コロナの影響で歩行者の減少を招き空き店舗も増え続けています。需要喚起策の継続と、根本的には、日常から「人が歩くこと」を仕掛けること、市民や会社や飲食街と一緒にまちづくりを進める事が必要です。街中人口を増やすことが活気と消費へと繋がります。今後も、商店街関係者や「まちづくり松山」と協働していきます。また、電子マネーと交通機関の電子決済の一元化を求めています。

4 就農者を応援することは 食を守ること

新規就農者への支援だけではなく、農福連携による就農者（NPO法人等）を新規就農者とし支援することも大事です。 殆どの就農者は勤めをしており兼業農家ですので、既に農地を持つ後継者にしっかり支援する事が就農の継続に繋がります。

5 地元銀行以外の銀行も 窓口にすべきです。

地元3銀行以外でゆうちょ銀行、農協等多くの地方銀行も営業しています。 多くの金融機関がありますが、メインバンクはそれぞれですし複数取引していることも自然な事です。 しかしコロナ対策融資の銀行窓口が地元に限られるなど不都合を感じた事業主も多く散見されます。多様な金融機関との取引を求めています。